

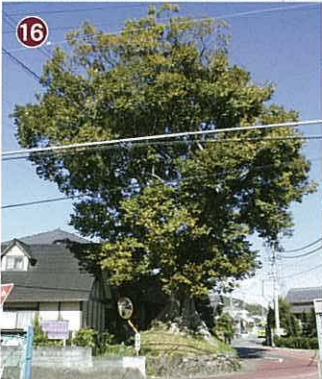


富士市の文化財めぐり

富士山が見つめた歴史

富士市教育委員会

東海道周辺の文化財



9 ディアナ号の錨



3 増田平四郎の像
スイホシ跡 間宿・柏原

8 平家越えの碑

7 左富士の松

6 左富士神社

5 石水門の碑

1 浅間古墳

2 千人塚古墳

3 山ノ神古墳

1 富知六所浅間神社

新吉原宿

中吉原宿

元吉原宿

沼津市

JR東海道新幹線

新東名高速道路(第二東名)建設中

東名高速道路

東海道本線

岳南鉄道

西船津

東小

→至東京・沼津

かんかん堂

富知六所浅間神社

吉原第一中

富士市役所

源太坂

ラ・ホール富士

吉原小

小淵井川

鳥田町

富士警察署

田島

依田橋

山部赤人歌碑

鯉島

港公園

中丸

鈴川

富士塚

阿字神社

元吉原中

毘沙門天

元吉原小

松

川尻

中里

須津

中里

中里

中里

1 庚申塚古墳 富士市東柏原新田

県指定

今から約1500年前（6世紀）に造られた双方中方墳という全国でも珍しい形の古墳です。長さは約40m、高さは中方部で3mほどです。

2 山ノ神古墳 富士市東柏原新田

市指定

6世紀前半に造られた前方後円墳です。長さ約41m、後円部の直径は約20m、高さは3mほどです。

3 増田平四郎の像 富士市大野新田

増田平四郎は浮島沼の大開発を計画し、私財を投げ打ち、排水路（スイホシ）を明治2年（1869）に完成させました。工事許可や資金調達など様々な困難を乗り越えての完成でした。しかし、その年に高浪で全壊してしまいました。後年同じ所に昭和放水路が建設されたことから、今もその功績は受け継がれています。

4 富士塚 富士市鈴川

天香久山とよばれた砂丘上に造られた塚があり、頂上部に「浅間宮」が祀られています。富士山信仰のため、登山者が浜で身を清め、登山への安全と無事を祈願し、浜から拾ってきた小石を積み上げたものだと「駿河記」〔文政3年（1820）桑原藤泰〕に記されています。関東などでみられる富士講の富士塚以前のものと考えられています。

5 阿字神社 富士市鈴川

天正年間（1573～92）頃、旅を続けていた「阿字」は沼川と和田川の合流する三股淵に棲む大蛇の生にえに選ばれてしまいました。共に旅をしていた仲間は、阿字の運命を悲嘆して柏原の沼に身を投じて亡くなり、その後六王子神社に祀られました。一方、阿字は保寿寺の和尚に命を救われましたが、仲間の話を聞き、後を追ったと伝えられ、この神社に祀られています。

6 左富士神社 富士市依田原

昔、左富士神社は悪王子神社と呼ばれていました。悪王子とは猛々しい神々の御子を意味しますが、依田原村の氏神として代々祀られて来ました。神社の南側には中吉原宿の東木戸があり、旧東海道はここから西に曲がり、和田川を渡って、現在の八代町から荒田島あたりが宿場のメインストリートでした。延宝8年（1680）、高潮がこの地を襲い中吉原宿は一面水没してしまいましたが、悪王子神社の森だけは残り、ここに避難した人々は助かったと言われています。

7 左富士の松 富士市依田橋

東海道五十三次を江戸から京へ向かうと富士山は絶えず、右側に見えます。しかしこの付近だけ、道のくねりのため、松並木の中に富士山が左に見えます。このことから左富士と呼ばれています。安藤広重の浮世絵でも有名です。現在は1本の老松のみが現存しています。

8 平家越えの碑 富士市依田橋

治承4年（1180）源頼朝が富士川を挟んで平家軍と対峙した際に、平家の軍勢が水鳥の羽音を源氏の夜襲と勘違いし退却しました。この付近は水鳥が飛び立った場所であるとの伝説が今でも残っています。

9 ディアナ号の錨 富士市五貴島（三四軒屋緑道公園）

市指定

ロシア軍艦ディアナ号は嘉永7年（1854）、日本に開国と通商を求めて来航しました。ところが11月に下田港で後にいう安政大地震のため大破し、船の修理のため戸田港に向かう途中に流され、田子の浦沖で沈没してしまいます。この錨は昭和51年（1976）に三四軒屋沖から引き上げられたものです。

10 間宿「本市場」 富士市本市場

東海道の宿場と宿場の距離が長い場合や川などの自然の障害がある場所には休憩施設として間宿が設けられました。富士川を挟んで西は岩淵、東が本市場でした。本市場の周辺には松尾芭蕉の句碑や鶴芝の碑、札の辻跡などの文化財がみられ、往時が偲ばれます。

11 福寿山瑞林寺 木造地藏菩薩坐像 富士市松岡 瑞林寺蔵 国指定

平安時代末期の作ですが、鎌倉時代の力強い様式を示す極めて貴重な仏像で、治承元年(1177)の制作です。慶派の基礎を築いた康慶(運慶の父)の作品と考えられます。寄木造の漆箔仕上げで、像高は84cmです。(通常は非公開)

12 雁堤 富士市岩本・松岡 市指定

古郡重高・重政・重年の父子三代が、新田開発と富士川治水のために築いた堤防です。岩本山裾から水神の森まで全長2.7kmあり、雁が連なっているような姿(逆L字型)から、その名がつけました。延宝2年(1674)に完成するまで50年余りかかる難工事で、人柱の伝説も生まれました。

13 岩本山貫相寺 富士市岩本 市指定

久安年間(1145~51)に比叡山の智印上人が創建したと伝えられています。もともとは天台宗の寺院で、日蓮聖人が寺に伝わる「立正安国論」を構想したと言われています。木造仁王像及び木造一切経蔵七福神の彫刻、宋版一切経、天海版一切経の市指定文化財があります。

14 富士川渡船場 富士市岩淵

富士川を渡る渡船と甲州(現山梨県)三河岸(鰍沢・黒沢・青柳)へ物資を運ぶ舟運の船着場として利用されました。渡船の範囲は西岸が尼ヶ渕(現富士川楽座)~中之郷村境(現JR富士川橋)、東岸が松岡村一番出し~川下20町(約2.2km)の区間でした。現在、西岸には渡船や舟運の目印となった常夜燈と、富士川に流路を開削した京都の豪商角倉了以の碑が建てられています。

15 小休本陣「常盤邸」 富士市岩淵 国登録

安政2~3年(1855~56)に建設され、静岡県内で唯一残った小休本陣の建物です。小休本陣は富士川渡船の船待ちのため、大名や賓客の休憩所として使われました。

16 旧東海道の一里塚 富士市岩淵 県指定

慶長9年(1604)、徳川幕府の命令によって大久保長安が、旅人の道しるべとして東海道の一里(約4km)ごとに塚を築きました。その大きさは5間(9m)四方。江戸日本橋を起点として、この一里塚は37番目にあたります。市内にはこの他、柏原、依田橋、本市場に一里塚がありました。

17 古谿荘 富士市岩淵 国指定 非公開

明治42年(1909)に、当時の宮内大臣田中光顕伯爵の別荘として建造されました。広大な敷地内に建てられた9棟の建物には、日本の伝統的な建築と当時の西洋建築を合わせた近代和洋折衷様式を取り入れ、明治時代の建築の中でも高い評価を受けています。現在は整備のため非公開になっています。

18 笠被り地蔵 富士市中之郷 浄蔵山宗清寺

寛政9年(1789)に小池村名主田中傳四郎が亡くなった子どもの供養のため、寺に寄進したといわれています。像の高さ155cm、笠は直径1mほどの大型の石造物です。もとは寺前の東海道を下る場所にあります。

身延道周辺の文化財



7

1

3

2

妙松寺

荻氏居館跡

富士川第二中

富士川第二小

大久保山
175.9

久保山

永精寺

風の宮

木島庚申堂

旧身延道

雨乞山
377

道の駅 富士川楽座

富士川SA

富士川渡船場

間宿・岩淵

小休本陣常盤邸

吉鈴荘

富士川第一中

富士川第一小

實相寺

瑞林寺

富士見高

富士市交流プラザ

入山瀬

鷹岡中

岩松北小

岩松中

岩松小

富士高

富士中

米の宮

富士第一小

富士市交流プラザ

本市場

富士

JR身延線

札の辻

富士見高

富士市交流プラザ

本市場

富士

JR身延線

札の辻

富士見高

富士市交流プラザ

本市場

富士

1 旧身延道 富士市木島～南松野

古代から駿河と甲斐を結ぶ通路とともに塩を始めとした物資の輸送路でもありました。中世には日蓮宗の総本山である身延山久遠寺への参詣の道、信仰の道としても発展しました。戦国期には今川家、武田家の争いの中で戦略路とも考えられていました。江戸時代には再び信仰の道として多くの日蓮宗信徒がここを往来しました。

2 身延道道標 富士市岩淵 岩正山光栄寺

享保16年(1731)に建立された題目道標で、身延山までの道筋と距離がかかれてあります。約280年前から東海道と身延道の分岐点に設置されていました。身延道は岩淵を起点とし、木島→南松野→北松野・妙松寺横→廻沢→惣沼→内房→塩出→小葉山→万沢のルートを通り身延山まで続いています。

3 木島庚申堂 富士市木島

庚申とは十干十二支の組み合わせで、60日ごとに1回巡ってくる庚申の日をさし、その日の晩に行った民間信仰を庚申講と呼びます。この信仰はこの日に夜眠ると体の中にある三尸が、天に昇り、その人の悪行を天帝に報告し、寿命を決定しているとのいわれから、徹夜で夜明かしをします。堂内には慶安4年(1651)に製作された庚申講の主尊である青面金剛像が祀られています。

4 風の宮 富士市南松野

富士川地区と松野地区の境にある馬坂峠の山頂に、古来より暴風から農作物を守る神として風の宮が祀られています。また、このそばを身延道が通っていて、沿道ぞいに様々な石造物が祀られています。ここからは第二東名高速道路富士川橋を見渡すことができます。

5 妙法山永精寺 富士市南松野

弘安6年(1283)松野を治めた松野六郎左衛門行成が創建し、日持上人が開山しました。当初は蓮永寺と呼ばれていました。後年、徳川家康の側妻万方が駿府に寺を建てる際に永精寺と改められました。

日持上人は日蓮の直弟子・六老僧の一人で、布教のため中国へ渡ったとされています。

6 荻氏居館跡・北松野城 富士市北松野

荻氏は紀州武田氏の後裔で南北朝時代末期に北松野へ土着した豪族です。別項に掲載した妙松寺を創立した荻次郎左衛門氏誉を初代とします。居館跡は北松野俣下区にあり、1町(約110m)四方あったと伝えられています。また、現在は入ることができませんが、その南側の城山の頂上部には北松野城の跡があります。

7 法王山妙松寺 富士市北松野

康応元年(1389)に北松野の領主荻次郎左衛門氏誉が顕本法華宗の開祖日什上人を招請して創立したお寺だといわれています。寺前には山桜の巨木があります。また、山門は江戸時代後期の建造で、本市では唯一の鐘楼門です。さらに、墓地には慶長9年(1604)の墓塔があり、江戸時代初頭からの古い石造物を残しています。

大宮道・甲州往還沿の文化財



1 富知六所浅間神社 富士市浅間本町

県指定

富士下方五社浅間神社の一つで、社伝によると人皇五代孝昭天皇2年6月10日に、富士山頂に祀ったものを、噴火が続いて祀りができなくなったため、延暦4年(785)に現在地に移したといわれています。この辺りは古代寺院と役所の中心部とされています。現在の本殿は正徳4年(1714)、拝殿は寛永2年(1625)に再建・修理されました。境内の御手洗池は周辺を流れる和田川の源流となります。また、ここには県指定天然記念物の大クスがあります。

2 伊勢塚古墳 富士市伝法

県指定

古墳時代後期(約1500年程前)に造られた直径50mほどの大きな円墳です。幅約8mの周溝(古墳の周りを巡る溝)が古墳の周りを一周し、その中から円筒形の埴輪が発見されています。造られた当時は、墳丘に埴輪列が巡らされていたと考えられます。

3 寺栄山本照寺 富士市厚原

市指定

伝承では本照寺内には熱原神四郎の墓があり、市指定文化財カヤの木が現存します。神四郎は、兄の作二郎、弟の弥五郎と共に熱心な日蓮宗信者でした。兄弟は鎌倉幕府と結んだ入山瀬天台宗滝泉寺印主代行智の日蓮宗弾圧の陰謀により捕えられ、鎌倉に送られ処刑されました。これを「熱原法難」と呼びます。

4 二本樋 富士市厚原

鷹岡伝法用水は、文治2年(1186)にこの地に移り住んだ植松兵庫之助信継が周辺の開発を進めるために造ったと伝えられています。二本樋の原形は戦国時代末に徳川家康が駿河を治めていた時代のもので、用水を渡すため凡夫川にかけられた樋は伝法と厚原の二方に分水しているため、二本樋と呼ばれています。代々用水の管理を行ってきた植松家は通称「樋代官」とよばれました。

5 立願淵 富士市久沢

立願淵は入山瀬溶岩が潤井川の水流によって削られ、自然造形の奇岩となっています。この淵には、主(龍神)から正直者が人寄せの時に不足する膳や椀

を借りたとする伝説があります。

6 鷹岳山曾我寺 富士市久沢

建久4年(1193)、源頼朝が富士の巻狩を催した時、曾我十郎祐成、五郎時致兄弟が、父の仇の工藤祐経を討ちました。しかし、兄の十郎祐成はその場で処刑され、弟の五郎時致は捕われの身となり、鎌倉に護送中、鷹ヶ丘という所で、工藤祐経の子に親の仇として討たれました。その亡骸は福泉寺(現曾我寺)に葬られたといわれています。寺には曾我兄弟の墓や堂内に木像と位牌が安置され、周辺には五郎の首を洗ったとされる首洗い井戸があります。

7 曾我八幡宮 富士市久沢

曾我兄弟の仇討ちから4年後の建久8年(1197)、源頼朝は岡部権頭泰綱に命じ、兄弟の霊を慰めるために曾我宮を造営しました。これを、後に源氏の氏神である八幡宮に合祀し、曾我八幡宮としたと伝えられています。

8 厚原風穴 富士市厚原

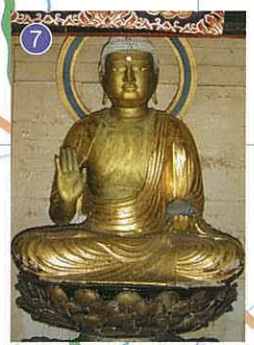
市指定

昭和53年(1978)に発見されたこの風穴は全長88.9mで、市内では八幡穴、不動穴とならぶ規模の大きな風穴です。風穴内のトンネルの中に別の溶岩トンネルがみられる2重構造の「溶岩ブリッジ」は、世界で4番目の発見となり、研究上貴重な風穴です。

9 天間沢遺跡 富士市天間

縄文時代中期～後期、古墳時代初めの複合集落跡で、大きさは南北1,600m、東西900mの範囲に広がります。昭和35年以降たびたび発掘調査が行われ、現在までに竪穴住居跡、土坑、配石遺構などが発見されています。富士山西南麓最大級の縄文時代の遺跡とされています。

根方街道周辺の文化財



1 浅間古墳 富士市増川

国指定

4世紀末から5世紀始め（1600年前頃）に造られた前方後方墳で、長さ約100m、後方部の高さ10mほどの県東部で最も大きい古墳です。この地域を治めた首長の墓と考えられます。

2 千人塚古墳 富士市神谷

市指定

7世紀前半（1400年前頃）に造られた円墳です。墳丘はほとんどありませんが、直径20mほどの大きさであったと考えられます。横穴式石室は県東部でも大型のものです。

3 富士岡地藏尊のイチョウ 富士市富士岡

県指定

大きな乳状下垂がいくつも垂れ下がり、母親がこれに触れるとお乳が良く出ると信仰の対象になりました。秋には見事な金色に色づきます。

4 竹採塚 富士市比奈

市指定

比奈地区は竹採の翁とかぐや姫の「竹取物語」発祥の地とされています。竹採公園（無量壽禪寺跡）には、自然石に竹採姫と刻んだ小さな塚があります。また、ここには江戸時代に無量壽禪寺というお寺があり、臨済宗中興の祖と言われる白隠禪師のお墓が残されています。

5 木造十一面千手観音坐像 富士市原田 藤澤山妙善寺観音堂

市指定

寄木造の漆箔仕上げで、像高112cmの優美な作品です。室町時代の制作と推定されます。堂内には他に木造広目天、多聞天、江戸時代の俳句の扁額が納められ、それぞれ市指定文化財となっています。

6 いぼとり不動 富士市原田

原田には湧水が多く、いぼとり不動も湧水をかぶっています。昔、体中にいぼがある娘がある時この水をつけたところ、すっかりいぼがとれたといわれ、

いまでもいぼとりの水と信じられています。

7 龍水山医王寺 富士市比奈

市指定

医王寺は奈良時代、行基菩薩が開基したと伝えられ、境内の裏からは平安時代末期の写経本をいれた経筒が出土しています。薬師堂の薬師如来像、境内にあるマキの木はいずれも市指定文化財です。墓地内には武田の軍師として有名な山本勘助の墓など貴重な文化財がみられます。

8 美円寺西第1号墳 富士市三ツ沢

市指定

6世紀後半に造られた直径約18mの円墳です。横穴式石室は全長約11m、幅2mほどで市内では最も大きく、昭和60年に一部解体復原整備を行いました。

9 善得寺跡 富士市今泉

市指定

善得寺は今川義元が幼少期を過ごし、その軍師太原雪齋が住持となった寺院です。武田・北条・今川の甲相駿三国同盟締結の舞台ともいわれ、富士川以東第一の伽藍として繁栄しましたが、永禄12年（1569）、武田氏の駿河進攻で焼失しました。

現在は公園として整備され、善得寺開山大興策禪師、太原雪齋などの歴代住持の墓が残されています。

10 源太坂 富士市今泉

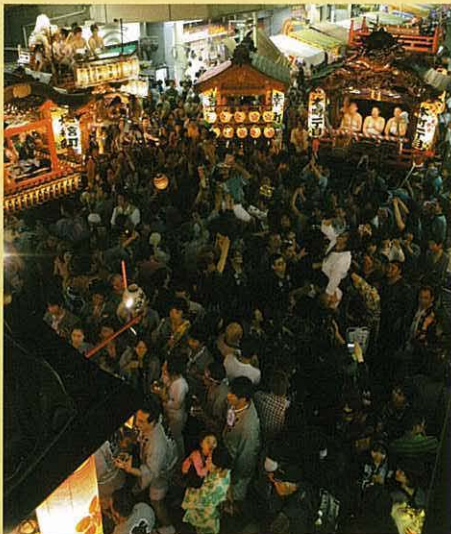
寿永3年（1184）、木曾義仲追討軍がこの辺りに来たとき、追討軍側の梶原源太景季と佐々木四郎高綱が源頼朝から拝領した名馬をめぐる争いになるうとした所と伝えられています。

街道周辺の主なおまつり

I

吉原祇園祭 富士市吉原

「御霊信仰」の祈りが祭りの形となったもので、京都の祇園会から広がりました。6月14日・15日近くの土・日曜日に行われ、山車の競合いや暴れ神輿は夏の到来を告げる風物詩のひとつです。



III

鶴無ヶ淵神明宮の御神楽 富士市鶴無ヶ淵

江戸時代から伝えられているもので、「下がり葉」、「幣の舞」、「剣の舞」、「狂いの舞」の4種の舞があり、7月第3日曜日の観音祭、10月第3土曜日の神明宮大祭に披露されます。

市指定



II

毘沙門天祭 富士市今井

香久山妙法寺の毘沙門天像は等身大の木造で、家内安全・商売繁盛を与えてくれる神と信じられています。江戸時代から庶民の信仰は厚く、2月に行われる大祭と境内で行われるダルマ市は日本三大ダルマ市として有名です。



IV

大北川かんじい 富士市北松野

いつの頃から始まったかはわかりませんが、北松野区大北に伝わる伝統的な盆行事(8月15日)です。長さ約2mの大竹を十字に組み、それを軸にして割竹で車輪を作り、周囲を麦わらで化粧して、太縄で巻きつけたいかだにします。その上に松明を建て、水難供養の塔婆を添え、川に流します。



指定文化財一覧

| | 種別 | 名称 | 員数 | 所在地 | | 種別 | 名称 | 員数 | 所在地 | |
|-------|----------------|--------------|------------------|----------------|-----------------|------------------|---------------|--------------|-----------|---------|
| 国指定 | 特別名勝 | 富士山 | | 他県市町村に及び | 市指定 | 有形文化財 | 考古資料 | 比奈東坂古墳出土品 | 一括 | 富士市立博物館 |
| | 重要文化財 | 建造物 | 古籾荘 9棟 | 9棟 | | | 岩淵 | 医王寺経塚遺物 | 一括 | 医王寺(比奈) |
| | | 彫刻 | 木造地藏菩薩坐像 | 1軀 | | 瑞林寺(松岡) | 千人塚古墳 | 1基 | 神谷 | |
| | | 書跡 | 紙本墨書法門百首 | 1帖 | | 平垣本町 | 稲荷塚古墳 | 1基 | 船津 | |
| 史跡 | 浅間古墳 | 1基 | 増川 | 実円寺西第1号墳 | | 1基 | 美円寺古墳公園内(三ツ沢) | | | |
| 県指定 | 建造物 | 旧稲垣家住宅 | 1棟 | 広見公園 | | 山ノ神古墳 | 1基 | 東柏原新田 | | |
| | 工芸品 | 太刀 無銘(伝左弘安) | 1口 | 鷹岡本町 | | 金原明善翁ら大規模植林地 | | 内山組合(桑崎) | | |
| | 史跡 | 琴平古墳 | 1基 | 中里 | | 雁堤 | | 岩本・松岡 | | |
| | | 伊勢塚古墳 | 1基 | 玄龍寺(伝法) | | 竹採塚 | 1基 | 竹採公園内(比奈) | | |
| | | 庚申塚古墳 | 1基 | 東柏原新田 | | 白隠禅師の墓 | 1基 | 竹採公園内(比奈) | | |
| | | 旧東海道一里塚 | 1基 | 岩淵 | | 善得寺墓群のなかの大點策禪師の墓 | 1基 | 善得寺公園内(今泉) | | |
| | 天然記念物 | 富知六所浅間神社の大クス | 1本 | 富知六所浅間神社(浅間市町) | | 善得寺墓群のなかの太原雪斎の墓 | 1基 | 善得寺公園内(今泉) | | |
| | | 慶昌院のカヤ | 1本 | 慶昌院(中里) | | 船津浅間神社のクス | 1本 | 浅間神社(船津) | | |
| | 有形民俗文化財 | 富士岡地藏尊のイチョウ | 1本 | 富士岡地藏尊堂(富士岡) | | 神谷神明宮のムクノキ | 1本 | 神明宮(神谷) | | |
| | | 浮島沼周辺の農耕生産用具 | 152点 | 富士市立歴史民俗資料館 | 間門浅間神社のシイ | 1本 | 浅間神社(間門) | | | |
| 無形文化財 | 手揉製茶技術 | 1名 | 中野 | 今宮浅間神社のスギ | 1本 | 浅間神社(今宮) | | | | |
| 市指定 | 有形文化財 | 建造物 | 五輪塔 | 2基 | 富士市立博物館 | 天然記念物 | 鶴無ヶ淵神明宮のクス | 1本 | 神明宮(鶴無ヶ淵) | |
| | | | ディアナ号の錨 | 1錨 | 三石野歴史民俗公園内(庄真島) | | 鶴無ヶ淵神明宮のシイ | 1本 | 神明宮(鶴無ヶ淵) | |
| | | | 瑞林寺伽藍 | 3棟 | 瑞林寺(松岡) | | 十王子神社のイチョウ | 1本 | 十王子神社(今泉) | |
| | | | 旧松永家住宅 | 1棟 | 広見公園 | | 十王子神社のクス | 1本 | 十王子神社(今泉) | |
| | | | 樋代官植松家住宅長屋門 | 1棟 | 広見公園 | | 水の上のタイサンボク | 1本 | 今泉 | |
| | | | 樋代官植松家住宅 | 1棟 | 広見公園 | | 本国寺のボダイジュ | 1本 | 本国寺(今泉) | |
| | | | 原泉舎 | 1棟 | 広見公園 | | 曾我寺のカヤ | 1本 | 曾我寺(久沢) | |
| | | | 眺峰館 | 1棟 | 広見公園 | | 曾我寺のシイ | 1本 | 曾我寺(久沢) | |
| | | | 杉浦医院 | 1棟 | 広見公園 | | 瑞林寺のモッコク | 1本 | 瑞林寺(松岡) | |
| | | | 實相寺・木造仁王像(金剛力士像) | 1対 | 實相寺(岩本) | | 瑞林寺のヒイラギ | 1本 | 瑞林寺(松岡) | |
| | 實相寺・木造一切経蔵 七福神 | 1点 | 實相寺(岩本) | 医王寺のマキ | 1本 | | 医王寺(比奈) | | | |
| | 妙善寺観音堂俳句扁額 | 1面 | 妙善寺(原田) | 一色のカヤ | 1本 | | 一色 | | | |
| | 木造広目天・多聞天立像 | 2軀 | 妙善寺(原田) | 八幡穴(溶岩洞穴) | 1箇所 | | 久沢 | | | |
| | 木造十一面千手観音坐像 | 1軀 | 妙善寺(原田) | 不動穴(溶岩洞穴) | 1箇所 | | 大淵 | | | |
| | 木造薬師如来坐像 | 1軀 | 医王寺(比奈) | 厚原風穴(溶岩洞穴) | 1箇所 | 厚原 | | | | |
| | 書籍・典籍・古文書 | 彫刻 | 紙本墨書 稿本 田子のふるみち | 1冊 | 富士市立博物館 | 本照寺のカヤ | 1本 | 本照寺(厚原) | | |
| | | | 紙本墨書 福壽山 瑞林禪寺記 | 1冊 | 瑞林寺(松岡) | 白髭神社のヒイラギ | 1本 | 白髭神社(大淵次郎長町) | | |
| | | | 紙本墨書 高林山 法田禪寺記 | 1巻 | 富士市立博物館 | 木之元神社のムクロジ | 1本 | 木之元神社(鈴川) | | |
| | | | 紙本墨書 今泉村住古高坂差色寶鑑 | 1冊 | 富士市立博物館 | 鶴無ヶ淵神明宮の御神楽 | | 鶴無ヶ淵一丁目 | | |
| | | | 中村家文書 | 897点 | 富士市立中央図書館 | 旧小休本陣「常盤家住宅主屋」 | 1棟 | 岩淵 | | |
| | | | 實相寺一切経 | 宋版一切経 4巻 | 實相寺(岩本) | 旧岩淵の火の見櫓 | 1基 | 南松野 | | |
| | | | | 天海版一切経 6174巻 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 国登録 | 有形文化財 | 建造物 | | | | | | | | |

指定文化財

市内の石造文化財Ⅰ

庚申塔 (こうしんとう)



鷹岡



室野



桑崎



加島



中野

六十日に一度巡ってくる庚申の日の夜、人が眠っている間にその人の体内にいるさんし三尸という虫が抜け出して天に昇り、てんすい天帝にその人の日ごろの悪事を報告して、早死にさせるという中国の思想があります。日本には平安時代に伝わり、室町時代には仏教と結びつき仏教的信仰となりました。江戸時代には大衆化し、以後このような塔が建てられるようになりました。

道祖神 (どうそじん)

単体丸彫り



蓼原 (神祇形)



三ツ沢 (僧形)

文字碑



文字碑 (岩松)

丸石



北松野公園

道祖神は色々な信仰を含んでいます。本来、村境などに祀られていることから、悪霊の入り込みを防ぎ、村人を守る神とされ、正月十四日のどんど焼きとして一般に親しまれています。市内には伊豆地方に多くみられる単体丸彫りのものや、甲信地方の流れをくむ双体のもの、文字だけのものといったように、様々な形があります。

市内の石造文化財 II

道祖神

双体 (そうたい)



天間



入山瀬



穴原



大淵片倉町天神社

市内にはこのような石造文化財がおよそ4,500基ほどあります。文学碑や石仏、道標といった様々な石造文化財が各地区で見られます。ここでほんの一部をご紹介します。

その他



山部赤人の歌碑
(田子の浦港)



新豊院善光寺如来



天澤寺石鐘 (六地藏)



富士山道標 (松岡水神社)



鶴芝の碑 (本市場)

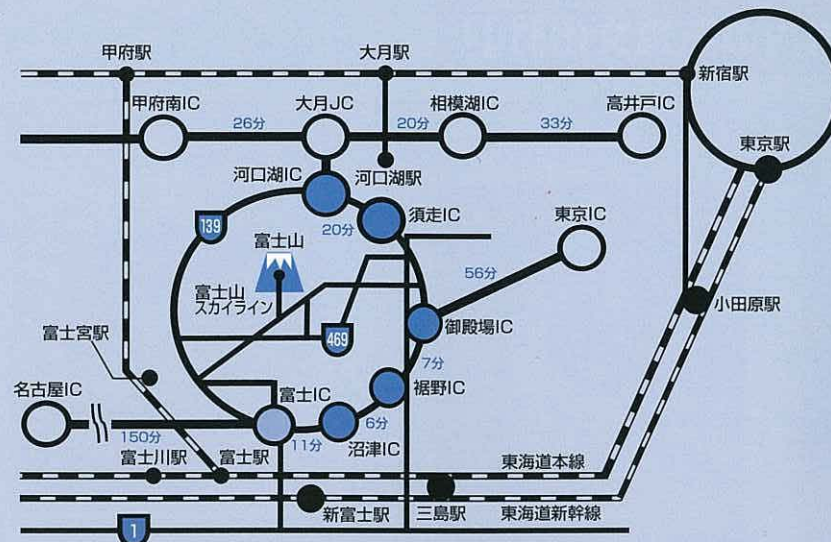
交通アクセス

■ 新幹線をご利用の場合

東京方面から・・・東京駅～新富士駅（約70分）
名古屋方面から・・・名古屋駅～新富士駅（約90分）

■ 車をご利用の場合

東京方面から・・・東京IC～富士IC（約80分）
名古屋方面から・・・名古屋IC～富士IC（約150分）



富士市行政資料登録番号 21-40

■ 文化財についてのお問合せ先

富士市教育委員会 文化振興課 文化財担当

〒417-8601 富士市永田町1-100 TEL0545-55-2875

e-mail: ky-bunkashinkou@div.city.fuji.shizuoka.jp